



目次	
●会長あいさつ	1
●副会長あいさつ	2
●本部役員紹介	3～4
●専門部活動紹介	5
●郡市教頭会ネットワーク	6
●新入会員の声	7
●随想	8



教頭のウェルビーイングの 向上を目指して

新潟県小中学校教頭会

会長 浅山 景

(上越市立黒田小学校)

昨年度に引き継ぎ、本会会長を拝命いたしました浅山 景です。非力ではありますが、会員の皆様からのご支援をいただき、本会を運営してまいります。よろしくお願いいたします。

さて、第4期教育振興基本計画では、「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられています。各校において、その具現を目指した教育活動を日々展開されていることと存じます。

ウェルビーイングに係って、令和8年1月13日の日本経済新聞に、第3回日経統合ウェルビーイング調査の結果が掲載されていました。本調査は3万人以上の企業従業員を対象に行われており、調査結果の主な概要は以下のとおりです。

- ・20代男女の4割後半がウェルビーイングの実感が高い。一方で男性50代、女性10代、入社10年を経過する年代から低下する傾向があり、中高年の働きがい・生きがい向上が課題となっている。
- ・残業が「月20～30時間」及び「10～20時間」の人は、ウェルビーイングの実感が最も高いが、月30時間を超える残業はマイナスとなる。
- ・ウェルビーイングの実感が最も高い人は、会社への愛着や貢献意欲が高いだけでなく、「自ら新しいプロジェクトに挑戦する」「主体的にリスクリングを行う」等、自発的に行動している。

この結果を基にすると、教員のウェルビーイングの向上のための教頭のすべきことは何でしょうか。

学校現場でも、採用まもない若手教員へのサポート(初任者研修など)は手厚い反面、中堅からベテラン(部活動の顧問、学年主任、分掌の責任者など

を担う層)への負担が集中しがちです。激務の中でも、教育への情熱(やりがい)を失わないよう、中堅・ベテラン教職員のメンタルケアや、業務負担の適正な分散が急務と言えます。

過度な長時間労働(月40～80時間超のいわゆる過労死ライン)を削減することは大前提ですが、ただ一律に「早く帰す」だけではなく、「授業準備や児童生徒と向き合う充実した時間(=意味のある時間)」を適切に確保できる仕組みが、教員の幸福度に繋がると考えられます。

ICTを活用した新しい授業スタイルの導入や、不登校支援などの新しい取り組みに自発的にチャレンジする傾向がある教員ほど幸福度が高いと言えます。上意下達(管理職からの命令)で研修を受けさせるのではなく、教員が「これを学びたい、試したい」と主体的に手を挙げられる余白(時間的・精神的なゆとり)と、それを応援する学校風土を作ることが、教育の質の向上に直結します。

紙面で伊藤邦雄氏が「従業員の幸せが顧客の感動に繋がり、生産性を高める」と述べているように、教育現場においては「教員のウェルビーイングが、子どもたちの笑顔や豊かな学びに直結する」と言えます。教員を「個として尊重し、寄り添う」管理職の意識改革が、今まさに求められています。

しかし、教頭は学校で多忙を極める職位の一つです。教頭自身が疲弊しては、職員室のウェルビーイングは実現しません。本会では、教頭のウェルビーイングの向上を目指して、全会員の知恵とスキルを共有できる研究・研修を行っていきます。会員の皆様の主体的な参加を期待しております。



「かかわること」を 大切に

副会長 長谷川 孝 史
(上越市立豊原小学校)

昨年度から引き続き、副会長を務めさせていただきます。会員の皆様とのつながりを大切にしながら職務を果たしていきたいと思っております。1年間よろしくお願いいたします。

先日、新潟県同和教育研究協議会の理事会・総会に参加させていただきました。今年度の計画などが示され、引き続き「かかわる同和教育」を大切にを進めていくことが確認されました。

どの学校にも困り感のある子、職員、保護者がいることと思います。私は教頭として何ができるのか、何をすべきなのか、これからも常に考えながら、困っている相手に誠意をもってかかわっていきたくと考えています。

県教頭会の活動計画の基本方針には「新潟県小中学校教育の発展を目指し、研究活動を中核に据え、会員相互の交流を重視した活動を推進する」とあります。本会も会員同士がかかわり合いながら交流を深め、県全体の教育をさらに発展させていくことができるよう、精一杯尽力してまいります。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



「かかわり合い」から紡ぐ 教頭の使命とやりがい

副会長 山 明 大
(長岡市立阪之上小学校)

今年度より副会長を仰せつかりました。皆様とのつながりを大切に、本県教育の発展に尽力してまいります。

さて、本会の調査等では、教頭のやりがいの最上位に「教職員の育成」や「職場の人間関係」が挙げられています。日々の多様な教育課題や多忙な業務に圧倒されそうになることもあります。同僚の悩みや困り感に誠意をもってかかわり、教職員一人一人が自分らしさを発揮して生き生きと児童生徒に向

き合える職場環境を整えることこそ、私たち教頭の重要な使命であり、大きな醍醐味です。

教職員の成長を間近で見守り、風通しの良い職場を共に作り上げていく過程には、何物にも代えがたい働き甲斐があります。学校が教職員にとって「Well-Being」を実感できる、希望に満ちた場となるよう、まずは私たち自身が笑顔を忘れずに職務に臨みたいものです。

各校の課題は様々ですが、教頭会という貴重な横のつながりを通じて互いに悩みや実践を語り合い、学び合いながら、子どもたちの未来を拓く学校づくりを共に進めてまいりましょう。よろしくお願いいたします。



好きを育み、 合意を大切に

副会長 嵐 田 浩 二

(新潟市立大江山中学校)

昨年9月に、次期学習指導要領の「論点整理」が公表されました。その中で、「一人一人の『好き』（興味・関心）を育み、『得意』を伸ばしながら、それらを原動力として学び全体への動機付けを図っていく取組と、当事者意識を持って、自分の意見を形成し、多様な他者と対話や合意を図る取組を同時に進め、これらが有機的に関わり合い高まっていく教育課程に変革していく必要がある。」と述べられています。

さて、『好きを育むこと』や『対話や合意を図る取組』は、私たち教職員にも当てはまることと思います。教頭は、校長の学校経営方針を受け、教育活動全体を通して目指す児童生徒像の具現に全力を注ぎます。その中で、教職員一人一人の「好き」を育むとともに「強みや専門性」を生かす組織編成、高い同僚性を築き教職員も協働的に教育活動を推進することを通して、教師としてのやりがいを感じ、一人一人のWell-Beingの向上につなげていきたいと考えます。

教職員のWell-Beingの向上に向け、会員相互が連携し、情報共有できる教頭会になるよう努めてまいります。一年間よろしくお願いいたします。

令和8年度

本部役員紹介



幹事長 **大坪 豊**
(上越市立北諏訪小学校)

昨年度に引き続き、幹事長を務めさせていただくことになりました。今年になって実感することは、本当にたくさんの人から支えていただいているということです。

教育の現場に、何か少しでもお返しすることができるよう、精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いたします。



中越地区庶務幹事 **佐藤 貴幸**
(長岡市立四郎丸小学校)

中越地区は「長岡市三島郡」「三条市」「小千谷市」「加茂市・南蒲原郡」「十日町市・中魚沼郡」「見附市」「魚沼市」「南魚沼郡市」「燕市西蒲原郡」の9つの教頭会で組織されています。会員数は、240名となっています。今年度は第16回ブロック別研究大会を、長岡市三島郡小・中学校教頭会の主管で開催します。会員の皆様と力を合わせて取り組みます。



会計幹事 **岩島 亜紀子**
(上越市立宝田小学校)

今年度、会計幹事を拝命いたしました。現任校は、地域の豊かな自然環境や人とのかかわりを重視した体験活動に取り組んでいます。私自身、保護者や地域の方、そして教職員とのつながりの大切さを日々実感しています。県教頭会でも、会員同士がつながり、活動が円滑に進むよう、微力ながら努めてまいります。よろしくお願いたします。



下越地区庶務幹事 **藤本 拓矢**
(新潟市立金津小学校)

本年度、庶務幹事になりました。新潟市の教頭会とは全く違った空気に、少々戸惑っておりますが、それぞれの地域の課題や取組を聞かせていただけるので、とても有意義です。また、教頭として駆け出しのため、諸先輩方に悩みを聞いていただけるのも、更に有意義です。働き方改革やよりよい職員集団の構築を目指し、学びの場として活用しています。



上越地区庶務幹事 **井浦 敦史**
(上越市立大湊小学校)

近年、管理職を目指す職員が減少している中、個人的には教頭職に「やりがい」と「充実感」を感じているところです。教頭は一人職ですが決して孤独ではありません。教頭会を通して共に学び、高め合い、学校間を超えた横の繋がりで働けることは教頭職の喜びの一つです。微力ではありますが、教頭会のために頑張って務めていきます。よろしくお願いたします。



下越地区庶務幹事 **中山 久司**
(村上市立岩船中学校)

村上市では、令和の10年間で合計11の小中学校が統廃合の結果、減少します。当校も令和9年度をもって閉校予定で統合・閉校の準備を進めています。

昨年度に引き続き、下越地区Bの庶務幹事を仰せつかりました。皆様のお力をお借りしながら、微力ですが教頭会の活動を円滑に進められるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いたします。

会計監査

八木清美	上越市立吉川中学校	加納 貴	新潟市立臼井中学校
堀和宏	長岡市立川崎小学校		

理事

清水正明	妙高市立斐太北小学校	渡辺元子	長岡市立宮内中学校
猪田謙	糸魚川市立磯部小学校	元井啓介	小千谷市立小千谷中学校
矢坂哲	上越市立直江津中学校	藤井憲之	佐渡市立真野小学校
桑原大和	柏崎市立第三中学校	杉山順二	阿賀町立三川小学校
徳留信登	十日町市立十日町小学校	坂哲也	新潟市立東新潟中学校
燕俊也	燕市立吉田北小学校	丸山温	胎内市立中条中学校

事務局

石見鉄夫	横田 誠
------	------

代議員

上越	小山宏一	上越市立三和中学校
	保坂国馨	上越市立東本町小学校
柏崎・刈羽	矢嶋隆之	柏崎市立柏崎小学校
糸魚川	山崎正義	糸魚川市立南能生小学校
妙高	松本高志	妙高市立新井小学校
長岡・三島	金子優誠	長岡市立表町小学校
	草分智昭	長岡市立千手小学校
三条	関拓也	三条市立第三中学校
小千谷	横山貴司	小千谷市立小千谷小学校
加茂・南蒲	佐藤禎英知	加茂市立加茂小学校
十日町・中魚	高橋信之	十日町市立十日町中学校
見附	松永昭夫	見附市立見附中学校
魚沼	荒井一人	魚沼市立堀之内小学校
南魚沼	富士野幸子	南魚沼市立六日町小学校
燕・西蒲	田中辰弥	燕市立燕東小学校
新潟小	大滝徳久	新潟市立越前小学校
	吉田先保	新潟市立山潟小学校
新潟中	坂哲也	新潟市立東新潟中学校
	永井昌樹	新潟市立木戸中学校
新発田・北蒲	大石康範	新発田市立猿橋小学校
村上・岩船	佐藤香織	村上市立金屋小学校
五泉・東蒲	湊田徹	五泉市立五泉小学校
阿賀野	湯浅要	阿賀野市立水原小学校
佐渡小	藤井憲之	佐渡市立真野小学校
佐渡中	梶原敦	佐渡市立相川中学校
胎内	小室謙司	胎内市立中条小学校

専門部活動紹介



アンケート調査にご協力を

調査要請部長 **井筒 正之**
(新潟市立東曾野木小学校)

今年度も「教頭の勤務実態調査」と「新潟県義務教育の振興に関する要望書作成のための調査」を行います。これらは、新潟県教育の進展に寄与するとともに、教頭の福利厚生・待遇改善を図るために行うものです。

ここ数年の報告を見ると、依然厳しい勤務実態が分かります。「6時台に出勤する割合が年々増加している」「コロナ禍で中止した行事が再開し始めている」。いずれも教頭の働き方改革が進んでいないことの表れです。今後、ますます深刻な状況になるのではと不安でなりません。

そんな状況を改善できるよう、厳しい勤務実態に関係機関に訴え、全国公立学校教頭会とも連携して、勤務条件の改善につなげていきたいと考えています。会員一人一人の声が大切になります。アンケート調査への皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



第62回新潟県小中学校教頭会研究大会の開催に向けて

研究部長 **鈴木 貴之**
(新潟市立万代長嶺小学校)

今年度は、第14期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」を受け、新潟県教頭会としてサブテーマ「夢や希望をもって粘り強く挑戦し、他者と共に未来を拓く子どもを育む学校づくり」の1年次研究に取り組みます。本年度は「第62回新潟県小中学校教頭会研究大会（第16回ブロック別研究大会）」が開催されます。11月4日（水）の上越・中越・下越Bブロック、11月10日（火）の下越Aブロックの開催に向け、各主管教頭会が準備を進めています。大会要項の精読や協議の柱の確認を行い、「研究成果を会員の勤務校や郡市に持ち帰ること」と「大会の成果と課題の明確化」を目指します。また、普段は学校で一人職である会員同士のつながりを深める大切な機会にしたいと考えています。ご協力をお願いいたします。



つながりを深める会報に

広報部長 **壘 和弘**
(上越市立和田小学校)

広報部は、県教頭会の活動方針や活動状況を発信することによって、本会に対する理解を深め、協力いただけるように努めてまいります。また、郡市教頭会の会員の皆様の取組や思いを紹介し合うことで、会員相互のつながりを深めることに貢献していきたいと考えています。

今年度は、私たち教頭自身のウェルビーイング向上や若手やミドルリーダーの育成について特集します。今の私たちが大切にしたい2つの課題にどのように取り組んでいるか、互いに参考となる紙面にしていきたいと考えています。

なお、会報の発行に際して、会員の皆様の原稿執筆や郡市教頭会長の皆様の執筆者選定や執筆依頼にご協力いただくこととなります。いずれもご多用のところ大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。



教育課題部の活動

教育課題部長 **猪股 幸**
(長岡市立東中学校)

教育課題部は、会員のアンケート結果を分析し、県の重点教育課題を把握するとともに、その解決に向けてどのように取り組むべきかを検討し、具体的な実践や対策について提案します。

日々多忙な業務に追われる「教頭」という立場だからこそ見えてくる課題や、現場の切実な思いを互いに確かめ合い、共有できる貴重な機会です。

会員の皆様が日頃感じている悩みや問題意識を、学校課題の解決に役立てられるよう、集まった声を丁寧に分析し、一つでも多くの実践・対策を提案できるよう、部員全員で努めてまいります。

一人で抱え込まず、教頭会の絆を通じて、より良い学校づくりを共に目指しましょう。

今年度も研究大会の趣旨に基づき、5つの教育課題の取組状況について意識調査を実施いたします。皆様の積極的な御協力をお願いいたします。

郡市教頭会ネットワーク



充実した 活動を目指して

魚沼市小中学校教頭会
会長 荒井 一人
(魚沼市立堀之内小学校)

1 はじめに

魚沼市小中学校教頭会は、小学校8校、中学校5校の計13校で構成されています。小規模な組織である利点を生かし、教頭同士が気兼ねなく情報交換や相談を行える関係づくりに努めています。

2 事業について

① 総会(年2回)

5月に総会を開催し、組織案・事業計画・予算案について審議・決定しました。2月には、実施した事業や研修の報告を行い、その成果と課題を明らかにするとともに、次年度の取組へと反映させていきます。

② 研修会(年3回)

近年の研修会では、魚沼市教育委員会から講師をお招きし、専門的な知見に基づいた研修を行っています。

今年度は、学校教育課 管理指導主事 高橋明大様を講師にお迎えし、「いじめ等トラブルへの対応」についてご講話をいただきました。具体的な事例をもとに、対応や報告の手順について丁寧なご指導を賜り、大変有意義な研修となりました。

7月に予定している夏季研修会では、魚沼市教育センター指導主事 笠井敬祐様を講師にお招きし、「合理的配慮」についてご講話いただく予定です。特別支援教育への理解を深める貴重な機会となることを期待しています。

また、2月にも研修会を予定しており、会員にとって実りある内容となるよう、引き続き検討を進めてまいります。

3 おわりに

少人数で構成されるよさを生かして、情報交換を密に行い、互いに力量を高め合いながら、魚沼市の教育の一層の充実・発展に寄与してまいります。



「つながり」と「学び」の 充実を目指して

南魚沼郡市教頭会
会長 富士野 幸子
(南魚沼市立六日町小学校)

南魚沼郡市教頭会は、南魚沼市及び湯沢町の小学校17校、中学校5校、特別支援学校1校の23校で構成されています。

1 「つながり」を大切に活動

主な活動として、総会を2回、研修会を4回(うち2回は総会と併催)開催しています。

研修会では、中学校区ごとの課題に向けた話し合いや各種大会等の参加報告、地域に出向いての巡検等を行っています。

中学校区ごとの話し合いでは、中学校区の課題解決に向けて連携が図られるよう、情報共有や解決策の検討を重ねています。学校間の連携を深めていくためにも、やはり教頭のつながりが不可欠です。第1回と第3回の研修後に行っている懇親会も大切なつながりの場となっています。

2 研修による「学び」の充実

地域に出向いての巡検では、旧町を単位として会場を設定しています。近年では、地域の企業を見学し、民間の視点から人材育成について講演していただいたり、地域の美術館や史跡を見学したりしました。郡市外から赴任する教頭も多いので、教頭としての役割や在り方について改めて考えるだけでなく、地域を知るための貴重な機会となっています。他にも、県研究集会や関ブロ大会の発表に向けた全員参加の検討会、校種別の情報交換会等も行っています。また、今年度は研究推進部が中心となって教頭の働き方改革に向けた取組も検討しています。様々な研修を通して互いに刺激し合い学び合いながら、教頭としての力量アップにつなげています。

3 「チーム南魚沼教頭会」

南魚沼郡市教頭会の温かい雰囲気、頼れる仲間、なによりも心強い存在です。今後も研修による学びの充実や会員相互のつながりを大切にしながら、南魚沼郡市の子供たちのためになるよう「チーム教頭会」の活動を推進していきます。



妙高山が見てござる

妙高市立妙高小学校

大口良平

眼前には雄大な妙高山と、豊かな田園風景が広がるこの妙高の地に、教頭として赴任してからの日々。妙高小の子どもは優しく素直で、その姿に日々元気をもらいながら、職務に当たっています。

一方で、教頭としてはまだ経験不足を痛感する場面も多く、自分の不甲斐なさを感じることがあります。しかし、その一つ一つを学びの機会と捉え、子どもたちの健やかな成長のために、そして教職員が安心して力を発揮できる学校づくりのために、誠実に努めてまいります。

「妙高山が見てござる」

いつも見守ってくれている妙高山のようにどっしりと構え、地域や保護者の皆様、教職員と力を合わせながら、自らも成長し続ける教頭を目指して精進してまいります。



相手を思いやった 関わり方を大切に

十日町市立松之山小学校

山崎 誠

学校現場でも生成AIが様々なところで活用されてきています。生成AIは、文書やポスターの作成等、上手に使えば、私たちの業務改善につながるツールとなります。この広報の原稿も、生成AIに作成をお願いすれば、私が書くよりも素晴らしい文書ができたのかもしれませんが、でも、本当にそれでよいのかと、立ち止まってしまいました。

新任教頭として赴任して3か月。人との関わり方が大切だと感じる場面が多くありました。全校の子どもや保護者、職員や地域の方々。人同士の付き合い方は、生成AIから教えてもらうものではなく、悩みながらも、その人を思いやった関わり方をすることが大切だと感じることも多くありました。

時には生成AIに助けをもらいながらも、相手を思いやった関わり方を忘れずに、学校に関わる全ての人が幸せを感じる学校運営を行ってまいります。



恩を送るために

長岡市立柿小学校

相澤 将貴

本校は校名にもある柿川がすぐそばを流れる豊かな自然環境の中、全校89人の子どもたちが生き生きと学校生活を送っています。

柿小学校では校長のめざす「子どもも保護者も地域も職員も、関わった人がみんな『よかった』と思える学校」の具現に向け、全職員が一丸となって取り組んでいます。教頭として、校長の経営方針を確実に実践へとつなぐ架け橋となるとともに、教職員が安心して力を発揮できる職員室をつくるために力を尽くしています。様々な対応に迷ったときは、校長や教頭会の先輩方から教えていただきながら職務にあたっています。この場を借りて感謝申し上げます。

私は教諭時代、多くの教頭先生から支えていただきました。これまで支えていただいたご恩を後輩たちへ送っていけるように、これからも様々なことを学び、管理職としての器を広げてまいります。



自分らしさを忘れず

新潟市立光晴中学校

倉嶋 昭久

新任教頭としてのこの3ヶ月間、これまでの教員人生では経験してこなかったことに対応するたびに新鮮な気持ちを抱いていました。改めてこれまで出会ってきた教頭先生方のすごさを感じる日々でした。しかしこの3ヶ月間を振り返ってみると、必死に教頭になろうとしすぎていたのかもしれませんが、少しずつ教頭職にも慣れ、多少の余裕が出てきた時、ふと「自分らしさって？」と考える瞬間がありました。教諭の頃の私は、生徒とどのように関わっていたかな？先生方との関わり方は…？これまで大切にしてきたことを、今の私は忘れていた部分もあったかもしれないと気づくこともありました。

教頭としての悩みは尽きませんが、これからも無理せず、「自分らしさ」を忘れず、そして肩肘張らずに自分らしい教頭を目指して、日々の職務に専念していこうと思います。

随 想



言葉を置き換えて 見えた景色

新潟市立漆山小学校

三 浦 智恵子

教頭の働き方改革というのは、なかなか自分からは言い出しにくい。しかし、教頭は忙しく、朝早くから夜遅くまで働く姿が正解であるはずがない。

中教審の答申で、「子供のためであればどんな長時間勤務もよしとするという働き方は、教師という職の崇高な使命感から生まれるものであるが、その中で教師が疲弊していくのであれば、それは子供のためにならない。」という一節があった。この『子供』を『子供や職員』に、『教師』を『教頭』に置き換えて視界が開けた。私たち教頭が生き生きと働くことが子供と職員のためになると考えれば、教頭の働き方改革を、堂々と、自信をもって進められるはずだ。

では、何ができるか。教頭の働き方改革の本質は、職員の負担を減らすことだと考えている。業務の見直しはもちろん、時間的・心理的に負担の大きい生徒指導対応に費やす時間削減のため、未然防止と早期発見に力を入れ、毎日授業の様子を見に行っている。他にも、校務のデジタル化を率先して進めている。一見、教頭の負担増に見えるが、実際には、私を含めた全職員の退勤時刻は確実に早まった。

きっと間違っていない。そう胸を張って自分にできることを探し、教頭の働き方改革を進めていきたい。



笑顔を灯す、 温かい架橋に

村上市立村上東中学校

本 保 美帆子

自分に教頭職など務まるのだろうか。不安だけが先走り、何をすることも自信なくスタートした教頭職だったが、早いもので教頭職3年目を迎えた。3年という月日は経ったが、まだまだ勉強不足を痛感する毎日である。

こんな私をいつも支えてくれているのは、周りの職員だ。職員の温かさに触れるたびに、教頭としてただ業務を円滑に進めるだけでなく、職員一人一人を支え、学校全体を温かく包み込める存在でありたいと強く考える。また、大切な職員が些細な悩みも分け合い、ホッと一息つける、そんな「心の居場所」がある職員室をつくりたい。なぜなら、職員の明るい笑顔は自分の原動力になっているからである。

教頭職は職責も重く、担う業務も大変なことが多いが、教頭職だからこそ味わえる楽しさ、やりがいもある。日々の小さな喜びや感動を大切に積み重ねながら教頭業務を楽しんでいきたい。

そして何よりも生徒、職員が笑顔で安心な学校生活を送れるように、教頭として、学校、家庭、地域の言葉一つひとつに耳を傾け、心を通わせる温かい架橋になりたい。



令和8年度 各種大会日程

- 1 第68回全国公立学校教頭会研究大会札幌大会 7月30日(木) 31日(金)
- 2 第67回関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会埼玉大会
11月11日(水) 12日(木)
- 3 第62回新潟県小中学校教頭会研究大会第16回ブロック別研究大会
11月4日(水) 上越ブロック・中越ブロック・下越Bブロック
11月10日(火) 下越Aブロック
- 4 令和8年度中央研修大会オンライン参加 2月12日(金) (各都市教頭会1名参加)
ビデオ自主研修(全員参加) 2月中旬～3月末日(自由視聴)

新潟県小中学校教頭会
[事務局]
県教頭会ホームページ
全国公立教頭会ホームページ

〒950-0912 新潟市中央区南笹口1丁目1-38 コープオリンピア笹口205
E-mail n-kyotoh@crest.ocn.ne.jp TEL (025) 245-5691
https://www.niigata-kyotokai.jp/ FAX (025) 245-5692
https://kyotokai.jp/